

2. 被害の概要

2.1 台風第15号

2.1.1 人的被害・建物被害

千葉県を中心に甚大な被害が生じ、消防庁の取りまとめ¹⁾によると、令和元年12月23日15時現在、死者3人、負傷者は重傷13人、軽傷137人、住家被害は、全壊391棟、半壊4,204棟、一部破損72,279棟、床上浸水121棟、床下浸水109棟、非住家被害は、その他1,660棟であった。各県別の内訳を表-2.1に示す。

表-2.1 人的被害及び建物被害（台風第15号）¹⁾

都道府県名	人的被害					住家被害					非住家被害	
	死者	うち 災害関連死者	行方 不明者	負傷者		全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	公共 建物	その他
				重傷	軽傷							
	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
福島県						1			5	6		
茨城県				1	24	4	84	4,705		1		584
栃木県					1			3				
埼玉県				1	9			15	1			
千葉県	2	2		8	74	363	3,929	62,986	34	57		801
東京都	1				6	12	68	1,425	13	11		226
神奈川県				3	10	11	76	2,665	68	32		48
静岡県					13		47	480		2		1
合 計	3	2		13	137	391	4,204	72,279	121	109		1,660

2.1.2 停電被害

暴風雨での倒木・飛来物による配電設備の故障等が発生し、経済産業省の情報²⁾によると、東京電力管内で約934,900戸（9月9日7時50分時点）の大規模な停電被害を生じた。

なお、9月9日7時45分時点（東京電力管内で約930,900戸）における各県別の停電被害状況は、茨城県約93,400戸、栃木県約1,300戸、埼玉県約4,100戸、千葉県約637,700戸、東京都約12,800戸、神奈川県約141,400戸、静岡県約40,200戸であった³⁾。

2.1.3 国土交通省所管施設の被災状況

(1) 下水道施設

令和元年12月5日17時現在、運転を停止していた終末処理場1箇所、汚水中継ポンプ場2箇所、商用電源の復帰のため通常運転を再開した。いずれも千葉県内の施設であった⁴⁾。

(2) 河川管理施設等

令和元年12月5日16時現在、国管理河川では、河岸浸食や護岸損壊などの被害が、荒川水系2河川2箇所、利根川水系2河川8箇所で発生した。県管理河川では、堤防洗掘、河岸浸食や護岸損壊などの被害が、千葉県内の10水系14河川17箇所で発生した⁴⁾。

(3) 土砂災害

令和元年12月5日17時現在、土砂災害は77件発生し、土石流等は1件、地すべりは1件、がけ崩れは75件であった。人家被害は、半壊1戸、一部損壊5戸であった。都道府県別発生件数は、神奈川県63件、千葉県8件、静岡県5件、福島県1件であった⁴⁾。

(4) 道路施設

令和元年10月31日時点の通行止め区間総数は高速道路9路線、直轄国道7区間、都道府県等管理国道約20区間、都道府県道等約80区間であった⁵⁾。

2.2 台風第19号等

2.2.1 人的被害・建物被害

関東地方や甲信地方、東北地方などで甚大な被害が生じ、消防庁の取りまとめ⁶⁾によると、令和2年2月11日9時現在、死者99人、行方不明者3人、負傷者は重傷40人、軽傷341人、住家被害は、全壊3,280棟、半壊29,638棟、一部破損35,067棟、床上浸水7,837棟、床下浸水23,092棟、非住家被害は、公共建物187棟、その他13,550棟であった。各県別の内訳を表-2.2に示す。但し、これらの数値は令和元年10月25日からの大雨による被害状況（人的被害21人（死者13、重傷1、軽傷7）、住家被害5,037棟（全壊37棟、半壊1,712棟、一部損壊1,845棟、床上浸水459棟、床下浸水988棟））を含むものである。

表-2.2 人的被害及び建物被害（台風第19号）⁶⁾

都道府県名	人的被害					住家被害					非住家被害	
	死者	うち 災害関連死者	行方 不明者	負傷者		全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	公共 建物	その他
	人	人	人	重傷 人	軽傷 人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
北海道								4				1
青森県					1			1	7	9		
岩手県	3			4	3	41	786	989	45	839		1,354
宮城県	19		2	8	35	304	2,974	2,718	1,587	12,300	17	61
秋田県								8				
山形県				2	1	1	5	32	65	98		8
福島県	32			1	58	1,470	12,454	6,868	1,158	446	42	8,608
茨城県	2		1		20	146	1,601	1,501	27	523		946
栃木県	4			4	19	84	5,205	8,314	2	408	14	1,098
群馬県	4			1	8	22	296	568	22	112	3	76
埼玉県	4	1		1	32	134	541	699	2,370	3,388		105
千葉県	12			2	28	65	1,909	6,182	469	884		23
東京都	1				10	36	658	976	318	532	25	32
神奈川県	9			3	35	48	680	2,059	715	468	21	172
新潟県				2	3	3	9	48	25	278	3	13
富山県				1				6				1
石川県				1				1				
福井県				1								
山梨県					1	2	3	67	1	6		1
長野県	5			5	39	916	2,496	3,463	8	1,419	24	937
岐阜県								11			1	5
静岡県	3	1		2	5	8	12	495	967	1,312	36	98
愛知県					1			1				
三重県					3		8	23	50	64		6
滋賀県					3		1	10				
京都府				1	3			8				
大阪府					8							
兵庫県	1				14			4				
奈良県								2		3		
和歌山県								1	1			
鳥取県					1			3				
岡山県					1			2			1	2
広島県					2			2				
山口県				1								
徳島県					1							
高知県					2			1		3		3
佐賀県					2							
大分県					2							
合 計	99	2	3	40	341	3,280	29,638	35,067	7,837	23,092	187	13,550

2.2.2 停電被害

暴風雨での倒木・飛来物による配電設備の故障等が発生し、経済産業省の情報⁷⁾によると、東京電力管内を中心に北海道・東北・中部・北陸・関西・中国・四国の各電力管内で最大521,540戸(10月13日0時時点)の大規模な停電被害を生じた。

なお、10月13日5時00分時点(約424,470戸)における電力管内別停電被害状況⁸⁾は、東北電力管内約52,190戸(青森県約90戸、岩手県約24,400戸、秋田県約600戸、宮城県約9,800戸、山形県約100戸、福島県約17,200戸、新潟県約1,100戸)、東京電力管内310,300戸(茨城県約40,800戸、栃木県約10,900戸、群馬県約4,700戸、埼玉県5,700戸、千葉県121,100戸、東京都約7,200戸、神奈川県約91,400戸、山梨県6,600戸、静岡県約22,000戸)、中部電力管内約60,940戸(三重県約20戸、岐阜県約260戸、長野県約60,380戸、静岡県約280戸)、関西電力管内約920戸(京都府約80戸、滋賀県約650戸、和歌山県約10戸)、中国電力管内約100戸(鳥取県約100戸)、四国電力管内約20戸(愛媛県約20戸)であった。

2.2.3 国土交通省所管施設の被災状況

(1) 下水道施設

令和2年2月現在、下水処理場16箇所で浸水被害等により処理機能停止等が発生した。被災した下水処理場について表-2.3に示す⁹⁾。

表-2.3 台風第19号により被災した下水処理場⁹⁾より作成

都道府県名	市町村・流域等名	下水処理場名
岩手県	大槌町	大槌浄化センター
岩手県	野田村	野田浄化センター
宮城県	松島町	松島浄化センター
福島県	阿武隈川上流流域	県北浄化センター
福島県	新地町	新地浄化センター
茨城県	ひたちなか市	下水浄化センター
茨城県	城里町	かつら水処理センター
栃木県	宇都宮市	下河原水再生センター
栃木県	宇都宮市	川田水再生センター
栃木県	鹿沼市	栗野水処理センター
長野県	千曲川流域	下流処理区終末処理場
長野県	千曲川流域	上流処理区終末処理場
長野県	長野市	東部浄化センター
長野県	中野市	上今井浄化管理センター
長野県	佐久市	佐久市下水道管理センター
静岡県	静岡市	清水南部浄化センター

ポンプ場 28 箇所で浸水により、運転を停止した。被災したポンプ場について、表-2.4 に示す⁹⁾。

表-2.4 台風第 19 号により被災したポンプ場⁹⁾より作成

都道府県 名	市町村・流域等名	ポンプ場名
岩手県	山田町	前須賀ポンプ場(汚水)
宮城県	仙台市	蒲生雨水ポンプ場(雨水)
宮城県	仙台市	人來田西ポンプ場(汚水)
宮城県	仙台市	仙石排水ポンプ場(雨水)
宮城県	名取市	堀内中継ポンプ場(汚水)
宮城県	丸森町	丸森雨水ポンプ場(雨水)
宮城県	松島町	高城雨水ポンプ場(雨水)
宮城県	松島町	松島汚水中継ポンプ場(汚水)
宮城県	七ヶ浜町	小田汚水ポンプ場(汚水)
福島県	福島市	郷野目雨水ポンプ場(雨水)
福島県	福島市	渡利雨水ポンプ場(雨水)
福島県	郡山市	水門町ポンプ場(雨水)
福島県	郡山市	梅田ポンプ場(雨水)
福島県	いわき市	仁井田中継ポンプ場(汚水)
福島県	いわき市	新町前ポンプ場(汚水)
福島県	本宮市	本宮第三ポンプ場(汚水)
福島県	本宮市	舘町排水ポンプ場(雨水)
福島県	本宮市	万世排水ポンプ場(雨水)
埼玉県	川口市	領家第八公園ポンプ場(雨水)
埼玉県	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	大谷川雨水ポンプ場(雨水)
埼玉県	毛呂山・越生・鳩山公共 下水道組合	鳩山第 2 中継ポンプ場(汚水)
神奈川県	箱根町	樹木園ポンプ場(汚水)
長野県	長野市	三念沢雨水ポンプ場(雨水)
長野県	長野市	沖雨水ポンプ場(雨水)
長野県	長野市	赤沼雨水ポンプ場(雨水)
長野県	飯山市	有尾中継ポンプ場(汚水)
長野県	飯山市	城山雨水排水ポンプ場(雨水)
長野県	小布施町	飯田雨水排水ポンプ場(雨水)

2 県 13 市 6 町 1 組合、100 箇所の管路施設、28 市 13 町 2 村、104 箇所のマンホールポンプで被害が発生した⁹⁾。

また、令和元年 10 月 25 日からの大雨により、千葉県茂原市川中島終末処理場において浸水被害等により処理機能停止、千葉県茂原市道目木ポンプ場（污水）、佐倉市岩名中継ポンプ場（污水）、福島県いわき市林城ポンプ場（雨水）において浸水により運転停止した⁹⁾。

(2) 河川管理施設等

令和2年2月12日9時現在、河川管理施設の被害は、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、富山県、長野県、静岡県、三重県の1都15県に及んだ。国管理河川では、6水系7河川12箇所（注）において堤防が決壊した他、法崩れ、堤防クラック、堤防・河岸・護岸の洗掘、漏水等の種々の被害が約700箇所が発生した。都県管理河川では、20水系67河川128箇所において堤防が決壊した他、法崩れ、堤防クラック、堤防・河岸・護岸の洗掘、漏水等の被害が約900箇所が発生した¹⁰⁾。決壊箇所について図-2.1に示す¹¹⁾。

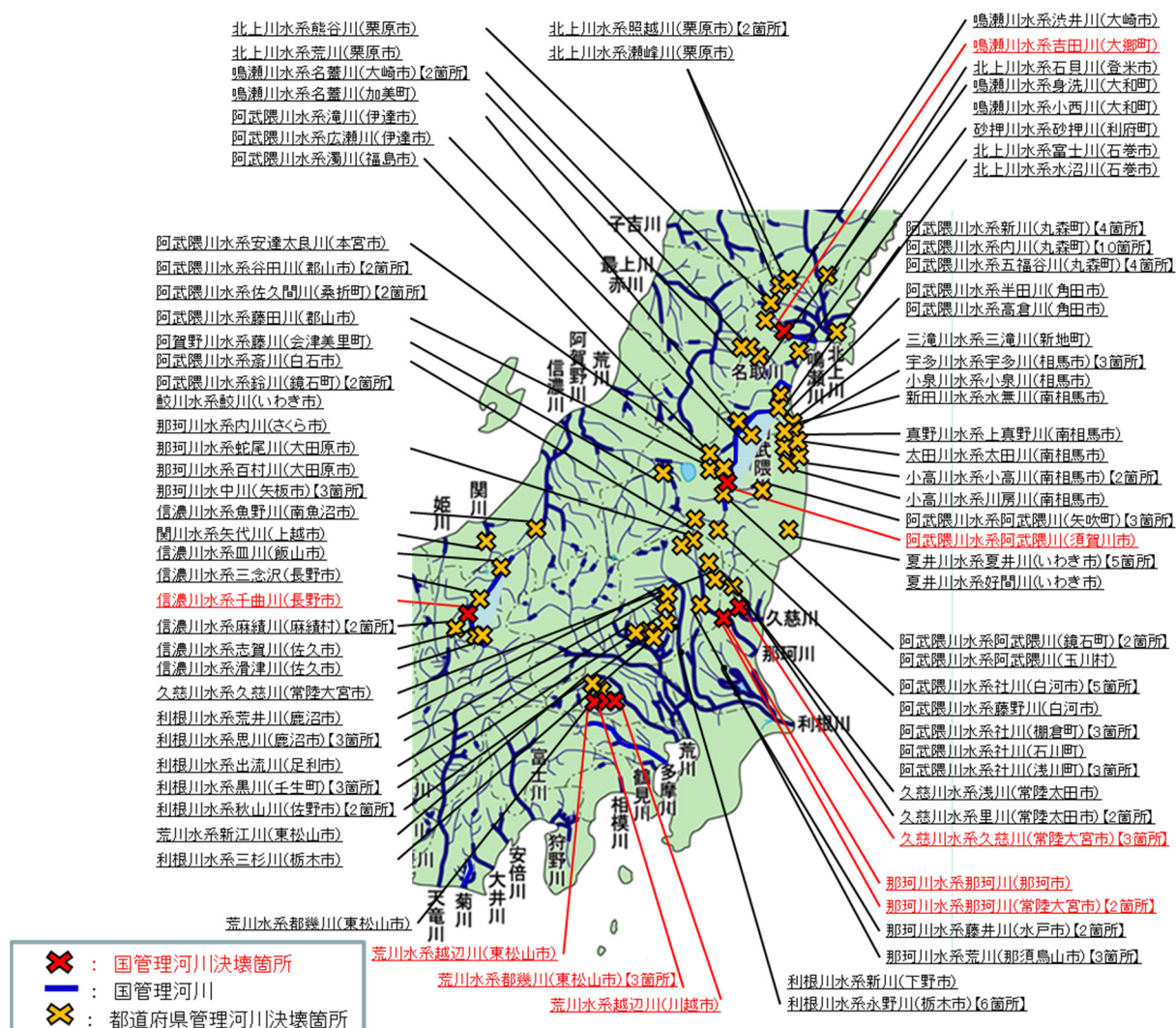


図-2.1 台風第19号の影響による河川の決壊箇所¹¹⁾をもとに作成

決壊、越水、溢水、内水等による浸水被害は、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、三重県の1都15県で発生し、浸水面積は約35,000haに及んだ。国管理河川では、浸水被害は、14水系33河川で発生し、都県管理河川では、浸水被害は、61水系293河川で発生した¹⁰⁾。

また、令和元年10月25日からの大雨により、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、埼玉県において、県管理河川20水系34河川で越水や排水不良等による浸水被害（約2,400ha）が発生した¹²⁾。

（注）令和2年4月10日、2箇所を堤防決壊と見直し、14箇所に。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000533.html

（3）土砂災害

令和2年2月12日9時現在、土砂災害は952件発生し、土石流等は407件、地すべりは44件、がけ崩れは501件であった。人的被害は、死者16名、行方不明者1名、負傷者10名、人家被害は、全壊55戸、半壊60戸、一部損壊268戸であった。都道府県別発生件数は、宮城県254件、福島県144件、岩手県98件、神奈川県94件、群馬県87件、長野県61件、新潟県45件、静岡県44件、栃木県36件、埼玉県28件、東京都23件、茨城県15件、山梨県13件、山形県3件、千葉県2件、青森県1件、秋田県1件、石川県1件、三重県1件、和歌山県1件であった¹⁰⁾。

また、令和元年10月25日からの大雨により、土砂災害は197件発生し、地すべりは1件、がけ崩れは196件であった。人的被害は、死者4名、負傷者1名、人家被害は、全壊11戸、半壊2戸、一部損壊29戸であった。都道府県別発生件数は、千葉県156件、茨城県26件、福島県8件、神奈川県6件、岐阜県1件であった¹⁰⁾。

（4）道路施設

令和元年10月31日時点の通行止め区間総数は、高速道路17路線、直轄国道63区間、都道府県等管理国道約160区間、都道府県道等約900区間であった⁵⁾。

参考文献

- 1) 消防庁災害対策室:令和元年台風第15号による被害及び消防機関等の対応状況(第40報)、2019年12月23日15時00分現在
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/taihuu15gou40.pdf>
- 2) 内閣府:令和元年台風第15号に係る被害状況等について、2019年12月5日17時00分現在
http://www.bousai.go.jp/updates/r1typhoon15/pdf/r1typhoon15_30.pdf
- 3) 経済産業省:令和元年台風第15号による被害・対応状況について(9月9日(月曜日)7時45分時点)
<https://www.meti.go.jp/press/2019/09/20190909002/20190909002.html>
- 4) 国土交通省:令和元年台風第15号による被害状況等について(第31報)、2019年12月5日17時00分現在
<http://www.mlit.go.jp/common/001319346.pdf>
- 5) 国土交通省道路局:災害に対する道路局の対応について、社会資本整備審議会道路分科会第71回基本政策部会、2019年11月1日
<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001315289.pdf>
- 6) 消防庁災害対策室:令和元年台風第19号及び前線による大雨による被害及び消防機関等の対応状況(第65報)、2020年2月12日9時00分現在
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/taihuu19gou65.pdf>
- 7) 非常災害対策本部:令和元年台風第19号等に係る被害状況等について、2020年2月12日9時00分現在
http://www.bousai.go.jp/updates/r1typhoon19/pdf/r1typhoon19_44.pdf
- 8) 経済産業省:令和元年台風第19号による被害・対応状況について(10月13日(日)5時00分時点)
<https://www.meti.go.jp/press/2019/10/20191013001/20191013001.html>
- 9) 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 調べ
- 10) 国土交通省:令和元年台風第19号等による被害状況等について(第53報)、2020年2月12日9時00分
<http://www.mlit.go.jp/common/001328599.pdf>
- 11) 社会資本整備審議会河川分科会 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会:資料6 令和元年台風第19号による被害,第1回配付資料、2019年11月22日
http://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouiiin_kai/kikouhendou_suigai/1/pdf/02_siryou6.pdf
- 12) 国土交通省水管理・国土保全局:水害レポート2019、2020.2
https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/pdf/suigai2019.pdf